

濤沸湖水鳥・湿地センター「センター講座」のお知らせ

12月2日(日)

「ウトナイ湖の自然を伝えるプログラム」

受付：午前9時 開会：9時15分
午前9時20分～11時
午前11時15分～12時

北海道の南西部、苫小牧市の東側に位置する「ウトナイ湖」は美々川の下流に広がる淡水湖です。

1981年に日本最初のサンクチュアリとなり、1991年に国内では4番目にラムサール条約の登録湿地となった「ウトナイ湖」。

ガン・カモ・ハクチョウなど渡り鳥の中継地である「ウトナイ湖」周辺で見られる生きもの達やそこで行われている自然解説プログラムについて、ウトナイ湖サンクチュアリの中村さんにお話をさせていただきます。

☆サンクチュアリ：野生生物の生息地の保全を目的とした場所で、日本野鳥の会がウトナイ湖に初めて開設。

「知っておきたい鳥インフルエンザ」

また、渡り鳥の季節に心配される「鳥インフルエンザ」について、オホーツク総合振興局の伊藤さんに、その傾向や傷ついたり病気の動物への対応などお話をさせていただきます。

※なお「知っておきたい鳥インフルエンザ」につきましては、講師が緊急出勤となった場合、延期若しくは中止となる場合があります。

←ウトナイ湖野生鳥獣保護センター発行



ウトナイ湖通信より

◆ウトナイ湖◆

周囲約9km、面積約275ha、平均水深約0.6mの淡水湖です。

鳥類はこれまでに約270種が確認され、ガン・カモ・ハクチョウなどの渡り鳥にとって重要な中継地、越冬地となっています。このためウトナイ湖は、国指定鳥獣保護区特別保護地区、ラムサール条約湿地、東アジア・オーストラリア地域渡り性水鳥重要生息地ネットワークに指定、登録されています。

◆ウトナイ湖野生鳥獣保護センター◆

環境省が「野生鳥獣との共生環境整備事業」により建設し、苫小牧市と共同管理する施設です。また、苫小牧市が業務の一部を(公財)日本野鳥の会に委託しています。

【利用案内】

〒059-1365 苫小牧市植苗156-26 TEL. 0144-58-2231 / FAX. 0144-51-8600

入館無料 / 開館時間：午前9時～午後5時 / 休館日：毎週月曜日(祝日の場合は翌日)及び年末年始



★会 場：濤沸湖水鳥・湿地センター（網走市字北浜203番3地先）

★講 師：日本野鳥の会 ウトナイ湖サンクチュアリ 中村 聡さん
オホーツク総合振興局 環境生活課 伊藤利佳さん

★対 象：小学校4年生以上（大人が対象の講座です。）

★定 員：30名 ★参加費：無 料

★申込み：会場準備のため、事前にお申込みください。

Tel&Fax:0152-46-2400（濤沸湖水鳥・湿地センター）

申込みはお早めに！